

資料番号	20010726
差出人	財団法人 骨髄移植推進財団 ドナー安全委員会
受取人	(財) 骨髄移植推進財団 認定施設連絡責任医師 各位
採取方法	DLI
通知区分	医療委員会発出
事例分類	麻酔機器

タイトル	採取後、卒倒した事例について
本文	<p><経過>Day0 採取当日 19:10 ホットライン当該施設より連絡 17:00 ドナーが、端座位によりナースが清拭中に突然失神した。脈 52/min 血圧 120/70 SPO2 98%瞳孔左右対称 対光反射 正常、直後に意識回復意識 ほぼ清明、除脈あり。神経学的には deficit なし状況から、迷走神経反射により、syncope と判断。硫酸アトロピン 0.25mg 投与 ECG 軸偏位に伴う poor R のみ心機能正常 右心負荷所見なし SPO2 90 から 91 (Room) 除脈 50 台硫酸アトロピン 0.25mg 投与血液検査 貧血なし血ガスは PCO2 に極端な減少なく、心エコー上も肺梗塞を疑う所見乏しいが、肺血流シンチグラフィで、欠損所見なく、肺梗塞否定的となる。19:10 検査の結果、血流シンチの結果問題なく、肺梗塞の疑いなし。血液内科としては VVR と考えている。○検査結果心エコー 正常血液検査、血液ガス、心電図 著変なし採取直後 Hb15、倒れた後 Hb15 貧血なしわずかに SPO2 低下がみられ、一時 90 まで下、その後 95 位に回復ドナーに外傷なし。</p>

別紙タイトル	
別紙本文 1	入院等は不明、現段階では採取にあたっての判断はできない。ドナーは搬送先病院には入院せず、この後、採取施設を受診。
別紙本文 2	日本赤十字社では、「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律（平成 26 年 1 月 1 日施行）」及び関連法令に基づき、さい帯血情報を研究用として希望する研究者に提供しています。